



大明小学校

校長室から

令和4年3月1日

No. 15

文責 校長 穴山 直樹

豊かな未来社会を創る子どもたちへ

今の時代は、社会の変化が激しく先行きが不透明で予測困難（VUCA・ブーカと読むようです。）であると言われています。このVUCAの時代は、今だけでしょうか。私は、今の社会環境とは全く異なるものの「予測困難」の視点から見ると、およそ150年前の江戸から明治に時代が変わる激動する世が、似ている状況ではないかと考えます。では、当時の人々はどのような思いで生きていたのでしょうか。政治が変わり、経済や戦争への不安から「不安定、不確実、複雑、あいまい」が多くの人々の心に増す中で、新しいことを自らの力で創り出すことへの「希望」をもつ人もいたことと思います。ところで、一昨年に告示された学習指導要領は、今の子どもたちが2030年代に「前向きで、責任ある行動をとることのできる、積極的に社会参画することができる」市民となっていくために必要な力の育成について示しています。学校は教育を取り巻く様々な問題や課題等を的確に分析し即応しながら、十年先を見据えて、子どもたちに「生きる力」を育成する教育課程を推進していく使命をもっていていると考えます。そんなことを考えつつ、まとめの3月を迎えました。

さて、新しい学年を迎えるこの時期は、子どもたちのさらなる成長へとつなげていくための意識づけができる時期です。

今月末にお子さんとの一年間の成長を振り返ってみてください。私たちも各お子さんに最も適した指導や支援を常に模索しています。保護者の皆様方や地域の方々と一緒に考え、ともに子どもたちの成長の喜びを感じ、より良い教育を進めていきたいと考えています。

非常災害時の対応

2011（平成23）年3月11日、あの東日本大震災から11年が経過します。東日本大震災が起こった当時、避難対策は大丈夫か、家の中を点検したり、水や保存食を確認したりしたご家庭も多かったのではないのでしょうか。しかし、大地震に対する切迫感は月日の経過とともに少しずつ薄れつつあるのではないのでしょうか。学校では、災害時、児童の安全を守ることを第一に対応します。ご家庭においては子どもが一人での状況での災害対策が必要となります。①家族がバラバラであったときの集合場所を決めておくこと。また、連絡の方法を確認すること。②ご家庭で非常時に備えて準備をしておくこと。ラジオや懐中電灯などを入れた非常災害時用のリュックの用意や防災頭巾などの準備。③まず自助。自分の命は自分で守るという意識を家庭内で確認すること。その後誰かのために何ができるか考えることです。

これまでの学びから災害時の初動がとても重要となります。いくつかの災害を想定してご家庭で話題にさせていただくことが防災教育や安全教育の動機づけとなります。よろしくお願いいたします。

テニスボール、いただきました

先月お願いした机やいすの脚用のテニスボールですが、3の1深沢空さんのお宅からたくさんいただきました。早速活用させていただきました。ありがとうございました。